



教育行政方針を演述する
千葉啓一教育委員長

【教育委員長に対する質問】

質問 来年度から完全実施となる中学校学習指導要領の武道指導における、安全面の担保は。

答弁 体育教員は全員柔道の段位を持っており柔道等の安全面を高めるための研修を行っている。

質問 平泉世界文化遺産追加登録の推進の方途は。

答弁 追加遺産登録は白鳥館遺跡が突破口になる。白鳥館が北上川水運の「川湊」であったことを解明する発掘調査を行う。

暫定リストへの掲載から追加登録と進めていく。

質問 これまで各区で進めてきた教育振興運動が、新たに奥州市教育振興運動推進協議会をつくることで、どう進められるのか。

答弁 岩手の財産である教育振興運動を、これまでの各区の取り組みを尊重しながら、奥州市全体のものとして実践交流等しながら進めていく。

質問 地区センターに移行するが、社会教育の目標を明確にし評価をすべきだが、市民への周知も含めどうなっているか。

答弁 教育委員会として社会教育行政方針を示し、

施策や取り組みの検証をしてきた。各区や実践組織については、区ごとに行われる実践発表会が検証の場になる。市民への周知不十分であれば、今後手だてを考えていく。

質問 中学生のつくば市科学体験研修事業は、実物を見聞でき有意義である。ILC（国際リニアコライダー）の誘致が実現すれば、10年後にはそこで働きたいという人材づくりにつながるのではないか。

答弁 この事業は、日本の最先端科学技術について研修するもので、JAXA（宇宙航行研究開発機構）国土地理院やILC縮小版とも言える高エネルギーギ加速器研究機構の実験装置などを見学、学習してきている。高い評価を得ているので、今後も継続し内容も深めていきたい。

質問 教育行政方針の中に「子どもの権利に関する条例」について触れていないのは残念である。子どもの参画を促すことや意見表明権、子どもを権利の主体と捉えるなど、子どもに伝えて行かなければならないことがある。

今後どのようにしていくか。

答弁 教育委員会として、きちんと受け止めて内容を精査し、様々な施策に生かしていきたい。

※ 川湊
都市を営むには、手工業生産は必要不可欠で、遺構・遺物のあり方から「川湊」では、鉄や銅、かわらけ、石製品などの製作や加工が行われていたと推測される。白鳥館遺跡は北上川の船着き場である「川湊」の可能性が高く、奥州藤原氏時代の重要な拠点のひとつと考えられている。



白鳥館遺跡第10次調査現地説明会